

実務経歴書

[記入注意] この実務経歴書は勤務先（自営業を含む。）毎に作成し、今までの建築に関する実務の経歴について登録に必要な業務内容を年代順に記入してください。なお、記載内容の記入不備や疑義が生じた場合、再提出や追加書類の提出を求められることになり、登録が遅れる場合があります。また、虚偽の実務経歴を記載した場合、建築士法上の措置や登録が認められない場合もあります。

私は、 二級木造 建築士の免許を受けたいので、建築実務の経歴を下記の通り記載し、併せて第三者がこの実務経歴書の内容が事実と相違しないことを確認したことを証する実務経歴証明書を提出します。 私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。 令和〇〇年〇〇月〇〇日			
長崎県指定登録機関		一般社団法人 長崎県建築士会 会長 様	
		氏名 建築 士郎 印	
勤務先等			
勤務先（部課名まで）		所在地（番地まで）	
〇〇県〇〇市〇〇部〇〇課		〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	
		在職期間の合計	
		年月～年月	
		年月数	
H30年4月～R4年5月		4年2月	
在職期間		地位職名	
年月～年月		年月数	
R2年4月～R4年3月		2年0月	
		技師、主任	
建築実務の内容（建築士法施行規則第10条）			
都市計画行政に関する実務			
建築実務の詳細			建築実務経験期間の合計
			2年0月
(1)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	
	〇〇市街地再開発事業	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目、〇〇丁目、〇〇丁目の一部	
	建築実務経験期間		
			年月～年月
			年月数
R2年4月～R3年3月			1年0月
実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）			
〇〇市街地再開発事業の施設建築物基本計画において、施行区域の建築物の現況調査(用途、面積、階数、築年数等)、及び施設の整備計画案(配置、平面、立面)の検討、図面作成等の補助を担当した。			
(2)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	
	〇〇地区土地区画整理事業	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目、〇〇丁目、〇〇丁目の一部	
	建築実務経験期間		
			年月～年月
			年月数
R3年4月～R4年3月			1年0月
実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）			
〇〇地区土地区画整理事業において、施行区域に建設する共同住宅の整備計画案の検討を行うとともに、施行区域内における移転補償費の算定基礎となる建築物のデータ整理及び現況調査、建築物の移転補償費の概算額の算定等の作業を担当した。			
(3)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	
	建築実務経験期間		
			年月～年月
			年月
年 月～年 月			年 月
実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）			
※経由庁（機関）記載欄			
※登録機関記載欄			